

このようにして水道・ガス事故の防止を!!

施工前には

工事を計画されましたら、速やかに事前協議を行ってください。

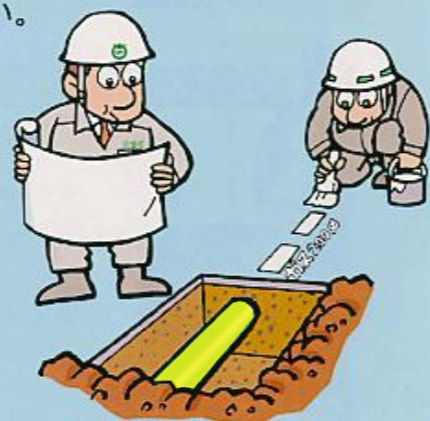
- 工事概要（工法、工期、工種）などをお聞かせください。
- 図面調査により、工事範囲の水道、ガス管の有無を把握してください。



● 担当課（水道施設課・ガス施設課）

試験掘（人力掘）により、水道、ガス管の正確な位置を確認してください。

- 協議していただきますと、水道、ガス管のおおよその位置を標示（マーキング）します。
- 試験掘で確認した水道、ガス管位置は、スプレーなどで路面に明示してください。



工事施工までに施工協議を行ってください。

- 試験掘結果に基づき、水道、ガス管との離隔、水道、ガス管防護の方法、施工上の留意点などについて協議を行ってください。



工事計画が変更になったときは、速やかに再協議を行ってください。

- 工法、工期、工程が変更になったときは、ご連絡ください。



施工中には

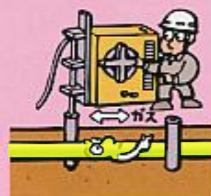
杭・矢板打ち、薬液注入・土質調査は、水道、ガス管と1 m以上離して施工してください。

- 削孔あるいは打設位置は、施工前に大津市企業局と現地立会いの上、確認してください。
- 離隔が1 m以上確保できない場合は、水道、ガス管の防護措置を講じてください。



土留支保工は土質や掘削の規模に応じたものを確実に施工してください。水道、ガス管が露出する場合は、吊り防護などの防護措置を正しく施工してください。

- 水道、ガス管に足をかけたり、乗ったりしないでください。



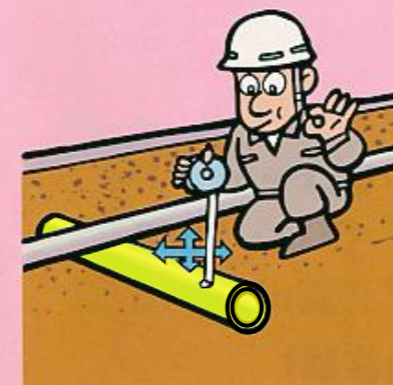
掘削は水道、ガス管の位置を十分確認の上、行ってください。掘削中不明管が露出した場合は、至急ご連絡ください。

- 水道、ガス管付近は手掘りしてください。
- 特に、引込管やボックス類に注意してください。



配管工事の際には、水道、ガス管と十分な離隔、30cm以上をとって配管してください。

- 将来の維持管理に支障がないよう、水道、ガス管に接近させて配管しないでください。



埋戻しは良質の土砂を使用して、水道、ガス管に衝撃を与えないよう徐々に行ってください。

- 水道、ガス管の周囲は、タコなどで十分に胴締めしてください。

路面復旧の際に、バルブなどのボックスはアスファルトに埋込まないでください。

- ボックスの箇所を棒またはバリケードで明示してローラーなどが直接のらないようにしてください。
- 道路面の高さが現状より変わる場合と、事前にボックス類の高さ調整が必要となりますので、早目に連絡してください。

